

発行人 関西定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二一 東興ビル4F
一九八四年 八月 二〇日 第3種郵便物承認 毎月 一三 四 五 六 七 八の日発行 頒価百円



特定非営利活動法人

とことこニュース

41

挨拶

とことこ理事長 中山 君江

皆さん、お元気ですか。理事長の中山です。」

今年の夏は昨年より暑くなるうとか、みなさん熱中症に気をつけてくださいな。

早いもので、あいえるせんたー逆瀬が開所してから、この八月一日で一年を迎えました。

本当にいろんな人たちに協力していただいたおかげで障害者スタッフも増え、活気にあふれております。

ありがとうございます。

自分たちの作業賃金をかせぐために、バザー販売、コーヒー販売、焼きいも販売、授産品販売、それから市役所からいただくお仕事など、みんな必死のバッチでがんばっています。

これも日頃ご協力していただき、ありがとうございますのおかげと感謝申し上げます。

さて今年八月九日に『宝塚市の障害者権利条例制定に向けて合理的配慮をきく』をやりま。

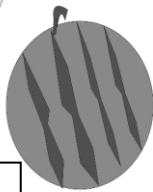
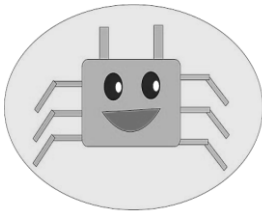
障害者一人一人が勉強していかなければ、自分たちの権利は守られませぬ。

どうせ誰かがやってくれるだろうなんて考えないで、前に向かって共に歩きましょう。

障害者の中には、家族に守られて、自分が差別をうけていることを気がつかない人が案外多くおられます。この勉強会には家族の人にも参加していただきたいと思ひます。

そしてそれが差別か他の障害者の人のためにも、先ずは、宝塚市に条例を作ってもらい、一人でも多くの人に障害があっても出来ることになりましょう。自分は重度だから何も出来ないじゃなく、何か一つだけでも出来ないかな、探して下さい。あなたの出来ること、きつとあるはず。例えば、悩みを聞いてあげれる、いつも笑顔の人、知らないところで勇気を与えているかもしれないよ。

私は視力がないので、あなたが景色を教えてください。



イラスト作: 宮本 恵子



介護支援センターとことこ
の前に看板ができました！！

「二〇一四年度JーL全国セミナー報告」

日時：五月二十八日(水) 十時～十七時三十分
五月二十九日(木) 九時～十五時
場所：マイドームおおさか二階イベントホール

議題：千葉袖ヶ浦事件》

あいえるせんたー逆瀬スタッフ 山崎 宗晴

袖ヶ浦福祉センター養育園で起きた事件です。去年十一月二十四日に職員から暴行を受け、二十五日の夕食後に急に体調が悪くなった。救急搬送されたと言っています。二十六日未明に死亡が確認されました。原因はおなかを強く足で蹴ったので小腸から出血したことによる腹膜炎であったと言っています。

十二月十三日にテレビで放映されたと言っています。私もこの話を聞いてすごく腹が立ちました。また、それ以上に腹が立ったのは十年前から、職員十五人が二十二人の利用者に虐待をしていたと言っている事も分かった。こんな悲しい事件はまだ、どこかの施設で起きるかもしれない。県の職員にだけまかすのではなく地域の自治会の人、民生委員の人たちにも抜き打ち検査みたいに施設の中に入ってもらい、施設に來ている利用者に話を聞いて、あと職員にも話を聞けば利用者との話と職員の話が全く違っていたら何か問題があると思います。

JーLの団体がどの位あるのかわかりませんが、県の職員と地域の自治会の人、民生委員の人たちに連絡をして密接にしていけばいいまでの事件にはならないと思う。

この事件の事でJーLは千葉の袖ヶ浦福祉センター養育園まで職員に会い話を聞きに行きましたが、取り合ってくれなかったという事です。行くことはすいません。一団体が行く事も取り合ってもらえません。それだったら、市の職員、厚生労働省の職員と行くべきかなと私は思いました。

《自立と運動》

あいえるせんたー逆瀬職員 藤川 了

自立とは何か？そこから自立生活センターで働く意義を考えていきました。

自立には、自己選択、自己決定、自己責任の考えがありこれらを「ノットロールしていく事」、自分の意思決定をしていく場所の一つが自立生活センターで、障害を持っててもその人らしく、自分らしく、あるべき姿で生きていく環境だと感じました。

セミナーでは、どうして自立生活センターが必要とされたのか？という問いかけから誰もが人生で、一度はテーマとなる自立へと進んでいきます。

一九七二年、エドワード氏が専門家に支配されず、一人の消費者として地域社会で生きていくという強い信念から、家族や友人、

仲間と共に自立生活センターを立ち上げ、今では世界に多くの自立センターがあります。

その過程で世間に広く知ってもらおう様々な「運動」がありました。世界の経済が発展していく中で、得たばかりは便利な世の中になんてならない。自分たちで作っていくという強い信念が、自立生活センターの文化を作っていく。今の私たちに多くの豊かさを築いてくれました。

この何もないゼロの状態から、自ら行動していくという「運動」は、とてもないエネルギーと信念が感じられます。ここから多くの事が学ばれました。

元からあったわけでもない物を歴史を遡って知っていくと、先輩たちの「自分たちの生活を変えよう」とするハングリー精神が学べて、現在の様々な活動に身を置く私たちにも、何かを築いていくにも、自分が主体的に進めていくという事は大きな原動力となり、自分の存在意義や場所を作っていくという事を知りました。この自身の生活を変えようとする思想が、現在の自立生活センターを作ったと学びました。



作：松村 行優

尊厳死法制化の問題化

アイエルセンタースタッフ 宮本 登

二日目内容：地域でつながってエフパワメントしよう

「かに広めるか？尊厳死法制化の問題点」

千葉袖ヶ浦事件報告

二日目内容：「二〇一四年度Jー総会」

サービスマス等利用計画とCー」

右記の日程で、今回初めてJーの全国セミナーに参加しました。

Jー、僕にとっては耳なれない言葉です。そう呼ばれている全国レベルの組織がある事は知っていましたが、具体的にどういった活動をしているのか、殆ど分かっていませんでした。五月二十八日朝、地下鉄本町駅に着くと、車いすの台数が多く駅員さんが昨日から車いすのお客様がすごく多いんですよ」と、いっておられたのが印象的でした。会場に着いてみると本当に人が多くてさすがに全国レベルだな」と思いました。

「よいよい二日目のセミナーがスタートしました。一日目の午後は「かに広める？尊厳死法制化の問題点」というセミナーがありました。以前にも尊厳死を題材にしたセミナーを聞いた事がありましたが、その時は何か他人事のような感覚で、ただなんとなく聞いていました。でも、昨年父親が亡くなった時に延命治療の話が医師の方から聞かされました。それもあって、前回とは違って真剣に話を聞くことができたと思います。

セミナーには、講師として弁護士の方が来られており、尊厳死の法制化について話されていました。ただ、医師も弁護士も尊厳死の法制化については消極的な部分もあり、なかなか進んで行かない様です。一昔前までは安楽死といわれ、殺人罪にも問われかねない事柄だったので、仕方ない話ではないかと思えます。

本来、尊厳死の尊厳というのは誰の為の物なのか、また、自己決定能力を持たない人の尊厳を誰がどうして伝えるのだろうか？

そもそも人間の尊厳というのは、その人がどう生きたのかという事だと思えます。

今回初めて全国セミナーに二日間参加して感じた事は、Jーは行政や組織を相手にしているので、一人一人と向き合っているーセンターとは少し違うのではないかなと思えました。二日間良い勉強になったと思えますが、僕はやっぱり、一人一人を大切にしていける様な組織を考えて行きたいと思えます。



作：きよろりん

バリアフリー二〇一四に行ってきました！

インテグリス大阪にて開催されました

あいえるせんたー逆瀬スタッフ 土井 克哉

私は毎年バリアフリー展に行っていて、今年で大体九回目だったと思います。今年は、個人的に行ったので、十時に梅田に出て十一時にインテグリス大阪に着きました。インテグリスの一号館から五号館まで、老人介護の展示会も同時開催されていたので全部見てきました。車イスとか自動車とか、いろんな物が揃っているので、私は、毎年参加しています。

行ってみて私が一番興味を持ったのが、中国製の電動車イスです。その車イスは上下に動くのも出来てそれで興味を持ちました。それと、他社と比べて対応が良かった事です。

日本の会社も何社か出展していましたが、どこも右手で、左手用には、工具がなくてさばりきれないと言われて試乗できませんでした。中国の会社の場合には、日本の代理店の人が心よく「どうですか」といって工具を用意してくれて左手用に換えてくれました。

それで試乗してみました。動きのほうは、慣れないと動きが少しこもりましたが、慣れたら乗りこなせると思います。代理店の人に言ったら公費助成の事はまだよくわからないので、県の方に聞いておきますと聞いてくださったので、私の名刺を渡したのですが、

いまだに何も返事がありません。

車の方では、この会社も、軽ワゴン車にスロープを付けてバリアフリーに対応していますと言っていますが、私たちに言わせたらスロープの角度がきつすぎて昇り降りがしにくいだけで、ここがバリアフリーやねん』と言いたいです。ですが、バリアフリーに興味を持つて作ってほしいものはありますか？

あいえるせんたー逆瀬スタッフ 香川 稔

僕が興味を持ったのは車です。普段乗っている車とバリアフリー展にあった車の違いを見たからからです。

最近の車は、後ろから車椅子が自動で上がっていくので便利になっているなど思いました。他にも衝突する前に急ブレーキがかかって事故を防ぐので、安全性を考えた車だと思いました。

僕が車を見てきた理由は生活のために必要だと思ったからです。なぜなら、行きたいところに行けるようになったら楽しいと思うからです。僕は将来ハンドルをにぎらなくても操作できる車ができたらいいと思います。そういう生活が便利になると思います。

食べ物にも興味があり介護食も見てみました。お薬をゼリーのように包む物もありました。試食してみるところやわらかくて面白い味でした。

どんな味かというところ、魚が入っているような感じのよくなびのよくな味がしました。こんな物ができるとだと知り、おしいへ食べら

れると思いました。錠剤のよくなお薬が飲みやすそうでした。お薬を飲みこみにくいお年寄りやお薬を使っている人達に便利だと思いました。

他にもプランターや、たくさんの色んな柄の杖がありました。色々なものが開発されているのだと思いました。

たくさん人がいて緊張しました。時間があまりなく、たくさん展示物を見れなかったのが残念です。

行ってみて良かったと思いました。とても勉強になりました。来年のバリアフリー展も楽しみです。

アイエルセンタースタッフ 木内 佐世美

私は去年の十二月に誤嚥性肺炎を引き起こしました。呑み込み検査の結果、普通の食事が採れなくなりトロミのついた食事を採らなければいけなくなりました。

今は、朝食はゼリー風のもの、昼食は市販のシトルトの御粥を買って食べ、夕食は宅配のやわらかい食事を採っている状態です。栄養が採れていないのか体重が増えないので、心配もあり今回参加させてもらいました。

介護食コーナーで今の状態を説明するとその食事の採り方ではカロリーは足りませぬね。」と言われました。丁寧におかゆやおじやの固さの区分が1〜3まであり、固さ＝カロリーに繋がると教えてもらいました。私の場合は区分2で、食事プラス栄養補給ドリンクを飲

む事を勧められ、なるほどなあ
「と勉強になりました。

別のブースでは、見た目は普通
食でありながら、口に入れるだけ
で柔らかくなるから揚げ、焼き魚・
野菜おもちがありました。おもち

も最初は、飲み込めないと思いましたが、結局食べ
みると味はわらびもちのようでツルツルと飲み込めやすかっ
たです。いろいろな介護食があり、便利に利用できるようになり助か
ります。

後は車イスの所を見学したんですが、三輪車型の電動車イスがあ
り、コンパクトで操作も簡単で機械に「とくに私にでも乗れるよう
に思いました。試乗してみたくて少し待っていたのですが、集合時間
が気になり残念ながら乗ることを諦めました。

今回のバリアフリー展に参加させて頂いてとても参考になり有意
義な時間を過ぎて良かったです。

アイエルセンター職員 本上 加代子

障害者スタッフの木内さんと行動を共にしました。バリアフリー
展はとても広くスケールの大きさにびっくりです。

暑さの厳しい中スタッフさんの体調も心配しましたが、私は木内
さんに勇気をもらいました。

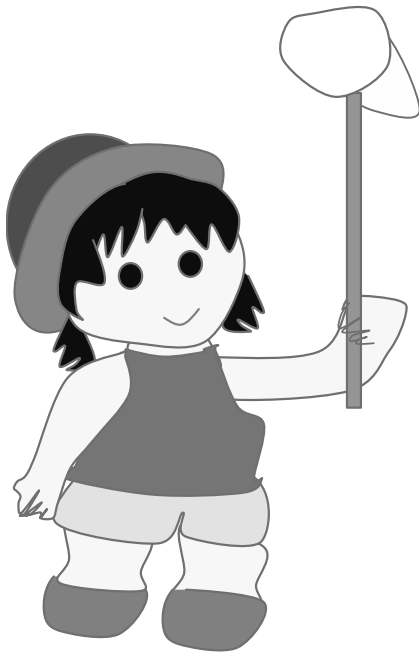


イラスト作: 宮本 恵子

食品部門は、建物がいへいもありすぎてわかりません。すぐ隣を
歩いていって若い方に「食品部門はどのですか?」と声をかけ尋ねまし
た。「このパンフレット差上げますか?」と「はい、どうぞですか?」と言
って頂きました。

優しいかったです。お陰でうしろしかず、すべ目的地に到着できました。
二十社近くの出展数、各社、若いセールスの方はとても熱心でした。
迫力があり圧倒されました。

メーカーの方はスタッフの木内さんの話に耳を傾け、訴えに無理じ
いせず思いやりのある対応で「高カロリー食品をお試してください」
「これもあれもどうぞいます。」と説明してくださり親切な方ばかり
でした。知らなかった違う世界を見せて頂き、感謝の限りです。私
もやがては確実に年を取ります。バリアフリー展で知ったことはや
6 がてお世話になる時がくるかもと思います。



イラスト作: きよろりん

美味でいじょうちかちかー！

じいじい理事 吉原 祐子

二十十年ほど毎年通っているバリアフリー展、福祉の世界の世相をよく現わしています。

はじめの頃は見た目にもタサイ決まりきったカラーの車椅子や、使ったら便利だろうけど力すぎて持って歩くには不便そうな福祉機器ばかりが目についていたのですが、次第に福祉機器にも陽の目がかかるようになってきたのか、ちょっと使ってみようと思えるものが増えてきましたね。増えてきた高齢者のお陰...とも言えますが、私たち障害者ユーザーにとっても選択肢が広がるのはとても嬉しいことです。

今年は食品を重点的にみて回りました。多くの企業が嚙下障害や、カロリー、塩分、糖分などに考慮した食品を色々開発しています。

見た目には全く普通の煮物、煮魚なのに口に入れたら噛まずに食べられるように加工されたもの、食べ易さだけでなく美味しさも追求されたなんと、横浜中華街の鴨珍楼へいちいち行って「コラボして作られた中華スープ、色々な味を楽しめるお粥、全くカロリーオフ、塩分超控えめのサラダドレッシング」など、試食はせなあかんし試供品は貰わなあかんし...会場とおウチとで二度美味しい、なかなか美味でいじょうちかちかー！

環境改良堆肥 『花さか爺堆肥』

平和オーガニックファーム

代表 位田 美江

私が、アイルセンターさんとご縁が出来ましたのが約七年前です。その頃は、不思議なご縁で天然菌 偏性好気性微生物群と出会い、土壌改良材の仕込みを勉強させていただきました。

それに改良を重ねて土壌改良材に牛ふん、豚ふん、などを栄養分として加えて仕込み、堆肥仕立てにしました。それが、『花さか爺堆肥』です。

昨年、宝塚ブランド モノコトバ宝塚に選定され、宝塚ブランド品として認定して頂きました。この堆肥のサブタイトルが、想像をはるかに超える地球にやさしい生きとしる環境改良堆肥です。

そのタイトルのように、花や葉っぱは色も鮮やかになり、たくさんの花をつけます。野菜などは生育も良くなり、鮮度保持効果もあります。最大の特徴は、天然菌が植物の根の周りにバリアを張り植物をいろいろな病原菌から抗菌し、病気にかかりにくくさせます。

その効果を「理解して下さった方々が、今から少しずつ増えてきております。『花がたくさん咲く』『花が次々に咲いてくる』『下マトが病気にかからない』『きゅつりが次々に育つ』『元気がなかったデコポンが元気になり実をたくさんつけた』などのうれしい感想の声を聴かせて頂きました。

アイルセンターさんでもバザーなどで販売して頂き地元の方々

に広まって来ております。

使い方も簡単で、植木鉢プランター家庭菜園の土に、花さか爺堆肥を混ぜて頂き種や苗を植え込んで下さい。

私はよく皆さんに「稲食育」をお話し致します。子供さんがおられたら一緒に種や苗から育てて野菜なら収穫もして、食べて欲しいです。

今年宝塚は、宝塚市制六十周年宝塚歌劇百周年手塚治虫記念館開館二十周年のトリプル周年の記念すべき年です。

今年も宝塚ブランドの選定が行われます。私も今年は天然菌で活性酵素水が出来る『宝塚バイオ』をミネート致しました。活性酵素水は、水に『宝塚バイオ』を投入して七〜八時間経てば出来上がりです。簡単に作れます。土壌に散布して花さか爺堆肥と併用して使ってください。この方法の輪がいろいろなところへ広まって行って欲しいと思います。

アイエルセンターの皆さんには、いつもご協力頂き感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

★花さか爺堆肥』問い合わせ先

★アイエルセンター

兵庫県宝塚市山本南二丁目六・五

電話：〇七九七・八一・二二三三

★あいのせんだー逆瀬

兵庫県宝塚市伊予志三十四・五九・一〇一

電話：〇七九七・二〇・一〇〇六

『花さか爺堆肥』

200円にて販売

出産をうらやま。

アイエルセンター職員 岡本 佐也子

二〇一二年九月十二日十八時五十四分、私は母となりました。十一時間にも及んだ出産が終わった瞬間でもありません。この時間を境に私の時間軸は見事に変化し、毎日が二十四時間では足りない生活を送ることになりました。

生まれてきた子供は、色白で足の長い男の子です。暑い夏に臨月だったのでつい、冷たい飲み物ばかり飲んでいたせい？だから色が白いと私の母に言われました。そうなのかな…？と思いつつ、生まれたばかりのわが子を眺めていました。

ついさきまで私のお腹にいたのに、今、目の前にいて一生懸命に泣いたり、手足を動かしたり、母乳を飲んだり…嬉しい気持ちとまだ、生まれた事が信じられない気持ちとが交互に襲いました。とても不思議な感情で、とても幸福を感じられる心の余裕がありました。

そんな心の余裕は、産院を退院してからは暫く味わえないのだけれど、産後すべの私にはこの後に待ちかまえている育児の大変さを知る由もありませんでした。なんとと言っても、高齢出産の第一子なのです。家族全員が赤ちゃんが可愛くて可愛くてたまらなくなかった！そんな出産と入院生活でした。

退院し、初めての我が家へ子供を連れて帰る時は、たいそう高級な人形のように大切に大切に包み込み、父親は見たこともない位に慎重に車を運転し、産院から僅か五分の距離を冷や汗を掻きながら連

れて帰りました。子供はスヤスヤと眠っており、初めての車も泣かなくなりました。この時からあまり泣かず、常に眠るでも手のかからない赤ちゃんでした。家に帰ったら明けても暮れても授乳。一日十三回。生後三カ月までは授乳していた事しか今では記憶にありません。お風呂が大好きで熱めのお湯にゆつりと浸からせると、気持ち良さをうに伸びをしにににと笑ってくれるのが毎日の楽しみでした。その反面、中々寝付けず、寝かしつけには苦労しました。

ある時寝かしつけを四時間も格闘しましたが、欠伸をするのに一向に寝付かず、私の苛々が頂点に達していました。父親が帰宅すると私は子供をソファに投げ置き、泣きながら寝室へ逃げ込みました。何事か分からない父親は私を怒りに来ましたが、私が余りにも意気消沈し、精根尽き果てた顔を見て黙ってドアを閉めました。そして子供を抱っこして長時間位寝かしつけてくれました。帰宅が遅く育児はおむつ替え程度しか出来なかった父親がイクメンになった記念すべき日でした。

私が育児ボイコット事件を起こした日から父親も夜中に起き、寝かしつけに参加するようになりました。今では、朝五時半に起きる息子にたたき起こされ朝の洗礼を受けています。毎日父親は辛そうですが…子供は父親に遊んでもらおうとあれやこれやとおもちゃを持って遊びはアピールをしてくる。夜には会えない事が分かっているのでも朝「一日分の満足感を得よう」と必死です。そんな毎日です。今年の九月は息子は一歳になります。

『子育てで感じた事』

チーフ 川原崎 浩史



お久しぶりです。皆様お元気でしょうか？」

私事ではありますが、昨年二〇一四年八月十九日に息子嵐人はやとが誕生しました。なんと今日で丁度十カ月です。フッキーな事に周囲の方は嵐人を「かわいい、かわいい」と褒めて頂き、その後ひろし君とは似ていないね。」との言葉を頂いております。どういう意味やねん……」笑これから家族三人で仲良く頑張っていく仕事もますます気合を入れて頑張りたいと思っていますので、今後もし宜しく願います。

さて先日、とある大型ショッピングモールに家族三人で行った時の話です。息子のオムツを替えるため多目的トイレに向かいました。しかし、多目的トイレの入口には「赤ちゃんの利用は遠慮下さい。」と書かれていました。私は諦めて残念ながら帰りました。とはいかず…笑(近くに居る清掃員のおばさんに聞きました。すみませんが、息子のオムツを替えたいのですがどこで替えれば良いのですか?」当然のように多目的トイレを指しました。事態を説明すると、別の階に赤ちゃんの授乳室等がある場所があるのですね。そこでオムツを替えて欲しいとの話です。ベビックロウする事はそのショッピングモールには、その一か所しかオムツを替える場所がなかったのです。今まで仕事から障音者の使えるトイレを探してきたのですが、子育てに関する設備がこれほども遅れている状況には驚きました。最近出来た飲

食店でさえ女性用トイレの中にオムツ替えベッドがある場所が多くあります。「これって性差別?…シングルマザーの大変さは良く言われますがシングルファザーはもっと大変なんではないだろうか。等等と考えながら「これでは少子化問題が進むのは当然だ。」と強く感じました。

私の母親世代は、外出時はオムツ替えベッドがなくてあたりまえ、百貨店を良く探したところでした。さらに子育ては家事の一部で母親の仕事、男が育児をする事が恥とされてきた時代があった事は理解しています。

しかし、今は時代が大きく変わったと私は思っていました。何故ならテレビ等では必要以上にイクメン、育児に積極的な男性が取りあげられています。また保育園の待機児童や少子化問題も大きく取りあげられています。何より、子育てを経験している人はたくさんいるはずなのです。子育ての苦労、大変さを身に試している人がたくさんいるはずだからです。残念ながらその認識が甘かった事を今は痛感しています。

正直、子育ての環境はまだまだ整っていません。その思いをこの場をお借りして訴えたいと思えました。子供を増やしたいならもっと子育て中の親、子供の立場に立った見かたをして欲しい。これは障害者制度にも言えます。僕が、子育ての専門家ではないのになんかどうしたら良くなるのかはわかりませんが誰か考えてください。また、機会がありましたら障害者問題と一緒に子供の問題も運動してもらえると助かります。よろしくお願いします。

障害者情報クラブイベント

バーベキュー大会を開催しました

「暑いなあおいなあおなかいいばいもういらさ」

障害者情報クラブ事務局 中山 君江

七月十二日、障害者情報クラブ主催のバーベキュー大会にこの暑い中三十九人も集まって行われました。

四台のテーブルに分かれて楽しみました。暑さにめげず、一生懸命焼いてくれました。

私は暑さにめげずに食べました。大勢で食べるとおいしいです。焼きおにぎりは焼く専門家?がいて焼いてくれました。焼き始めたら誰も触ってはいけません。焼きおにぎり屋さんになりませんか?

私の班は三グループで反になかなか火がつかず、「いつ食べられるのかな」でも焼き始めたら焼き手が忙しく頑張っていました。

野外でのバーベキューが初めての人もあり、暑いけど楽しかったと思います。





あいえる逆瀬の人は準備で大変だったと思います。どうもありがとう、そしてお疲れ様でした。

おかげでおいしかった、体重も増えました。

みんなの声は、食べ過ぎたとかおいしかったとかみんなと食べたらしいとか『も暑いよ』…当たり前でしょう。七月二日だもん…。

本当に楽しいときは、みんないい顔してる、いい声出してる。こんな声やいい顔がいつまでも続くといいな。いろいろな思いと戦ってきた障害者仲間ですもの、障害のない人も、一番私達を理解して手助けしてくれる仲間だもの。これからもよろしくお願いいたします。

八月九日障害者情報クニズの勉強会
宝塚市の障害者権利条約制定に向けて
『合理的配慮をきこる』

副理事長 坂上 正司

Q. このフォーラム開催のきっかけは？

A. 昨年、障害者差別解消法が成立し、日本政府が国連障害者権利条約を批准したから

Q. その障害者差別解消法が再来年から施行されますがそれはだめなのですか？

A. 障害者差別解消法では、実際に差別事例が発生したときにそれを解消する方法が書かれていません。それを補完するための条例制定の必要性は障害者差別解消法に書かれています。

Q. 直接差別や間接差別（関連差別）とは違う合理的配慮ってなんですか？

A. 障害者が個別具体的な状況でなんらかの要求をおこない、その要求をつけた相手側が、過重な負担がない範囲で、障害者の機会平等をさまたげている既存の社会的障壁を除去する。

Q. なんだか難しいんですけど?

A. 障害者も健常者も双方が納得できる差別に対する物指しというのは地域性があり、風土や気候にも左右されますから、その地域に住んでいる人みんなで話し合って、落としどころを決めていくしかないんです。
「合理的」という言葉はむしろこのような「公平性」を持った意味で使われています。

バザー用品ご提供のお願い

【ご家庭の不要になった物をご提供下さい】

アイエルセンターは、地域で生活する障害者の活動を応援する地域活動支援センターです。ご提供いただきました品物は、アイエルセンターバザーコーナーや、各種イベントで販売させていただきます。ご提供頂ける方は、下記もしくは、あいえるせんたー逆瀬(〇七九七二〇一〇〇六)までご連絡下さい。

障害者の自立生活支援、障害者の権利擁護など

の活動を支える資金作りのために、バザー用品のご提供をお願いしております。

発行人 関西定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二十一 東興ビル4F
一九八四年 八月 二〇日 第3種郵便物承認 毎月〇二三四五六七八の日発行 領価百円

特定非営利活動法人とことこニュース

編集人 特定非営利活動法人とことこ
所在地 〒665-0882 兵庫県宝塚市山本南2-6-5
特定非営利活動法人とことこ 障害者情報クラブILセンター
TEL & FAX 0797-82-2233
E-MAIL sjcil@hotmail.co.jp

【アイエルセンターへのご寄付の方は】

☆池田泉州銀行 山本支店 普通 28004

特定非営利活動法人 とことこ 理事長 中山君江

【障害者情報クラブへのご寄付、会費の振込みの方】

☆郵便口座 14360-43110611 障害者情報クラブ

☆銀行口座 三井住友銀行 逆瀬川支店 普通 3566211 障害者情報クラブ

☆障害者情報クラブへご入会希望の方は、上記「障害者情報クラブILセンター」までお問い合わせください。